

福島工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	国語
科目基礎情報						
科目番号	0005		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	4		
教科書/教材	『現代の国語』『言語文化』（筑摩書房）『常用漢字の級別学習ベーシック』（京都書房）					
担当教員	渡部 裕太					
到達目標						
①現代文においては、作品のテーマや作者の主張を理解できるようにする。 ②古文・漢文においては、基本的な語彙や正確な文法の知識を身につけ、作品の大意を把握できるようにする。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
現代文	文章の内容を正確に理解することができる。		文章の内容を理解することができる。		文章の内容を理解することができない。	
古文	古文の内容を理解し、現代語訳することができる。		古文の内容を理解することができる。		古文の内容を理解することができない。	
漢文	漢文を書き下し文に直し、現代語訳することができる。		漢文を書き下し文に直すことができる。		漢文を書き下し文に直すことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	近代・現代の文章、古文、漢文を読み、文章の内容を正しく読み取る力を養う。					
授業の進め方・方法	中間試験、期末試験とともに50分の試験を実施する。 定期試験の成績を60%、小テスト・課題・平素の成績等を40%として評価し、60点以上を合格とする。					
注意点	不明な語句がある場合は、辞書を引いて調べる習慣を身につけること。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	現代文：境目		高専の国語の紹介	
		2週	現代文：ことばとは何か		構造主義における言語の特質について理解できる。	
		3週	現代文：ことばとは何か		構造主義における言語の特質について理解できる。	
		4週	古文：宇治拾遺物語（児のそら寝）		動詞の活用について理解できる。	
		5週	古文：宇治拾遺物語（児のそら寝）		用言の活用について理解できる。	
		6週	古文：十訓抄（大江山）		古語辞典を引きながら現代語訳することができる。	
		7週	古文：十訓抄（大江山）		和歌の修辞について理解し、本文を解釈できる。	
		8週	現代文：デジタル社会		デジタル社会と監視社会の関係について理解できる。	
	2ndQ	9週	現代文：ことばがつくる女と男		構築主義とジェンダーの問題について理解できる。	
		10週	現代文：贈り物と商品の違い		商品交換と贈与の違いについて理解できる。	
		11週	現代文：贈り物と商品の違い		商品交換と贈与の違いについて理解できる。	
		12週	漢文：入門		漢文の訓読の仕方を理解できる。	
		13週	漢文：守株・推敲		漢文を正しく訓読し、現代語訳できる。	
		14週	漢文：借虎威		漢文を正しく訓読し、現代語訳できる。	
		15週	期末試験の返却・解説		理解の不十分な点に気づくことができる。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	現代文：誰かの靴を履いてみること		「他人の靴を履いてみる」とはどのようなことか、理解できる。	
		2週	現代文：誰かの靴を履いてみること		「他人の靴を履いてみる」とはどのようなことか、理解できる。	
		3週	現代文：〈私〉時代のデモクラシー		〈私〉時代において〈私たち〉を形成することの意義について理解できる。	
		4週	現代文：〈私〉時代のデモクラシー		〈私〉時代において〈私たち〉を形成することの意義について理解できる。	
		5週	古文：徒然草（つれづれなるままに）		用言の活用について理解できる。	
		6週	古文：徒然草（丹波に出雲といふ所あり）		助動詞について理解できる。	
		7週	古文：方丈記（ゆく河の流れ）		文法事項を踏まえ、現代語訳できる。	
		8週	現代文：魔術化する科学技術		科学が「魔術化」されることについて理解できる。	
	4thQ	9週	現代文：魔術化する科学技術		科学が「魔術化」されることについて理解できる。	
		10週	現代文：マルジャーナの知恵		資本主義における情報の商品化について理解できる。	
		11週	現代文：羅生門		下人が盗人になった理由について理解できる。	
		12週	現代文：羅生門		語り手の機能に着目して本文を理解できる。	
		13週	漢文：漁夫之利		漢文を正しく訓読し、現代語訳できる。	
		14週	漢文：塞翁馬		漢文を正しく訓読し、現代語訳できる。	
		15週	期末試験の返却・解説		理解の不十分な点に気づくことができる。	

		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	
評価割合						
	試験	小テスト・課題	授業内の活動	合計		
総合評価割合	60	30	10	100		
基礎的能力	50	30	10	90		
応用力	10	0	0	10		